

事 業 報 告
決 算 報 告 書

(第39期)

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月 31日

株式会社札幌花き地方卸売市場

札幌市白石区流通センター7丁目3番5号

事業報告

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

平成29年度の我が国の経済は、個人消費や設備投資が持ち直すなど民需が改善し、景気は緩やかな回復基調が続きました。北海道経済についても、観光入込客数が好調を維持するとともに、個人消費も回復の動きが見られるなど、道内の景気全体としては緩やかな持ち直し基調にありました。

こうした経済状況のもと、当市場の平成29年度取扱高（卸売事業者三社の合計）は、数量で前年度比3.5%の減、金額では4.1%減の80億4,860万円（前年度83億8,926万円）となりました。

取扱数量の減少は、全国的な天候不順が影響しているものと考えられ、全国の殆どの花き市場において前年より減少（日本花き卸売市場協会調）しております。また、近年の輸送運賃の高騰についても、取扱数量減少の一因になっているものと思われま。

なお、道内卸売市場の花き取扱金額（平成29年1月～12月、北海道市場協会調）は126億9,003万円（前年比5.0%減）で、同期間における当市場のシェアは、前年と同割合の63.9%となっております。

当期事業につきましては、開設者としての市場の運営・管理及び卸売事業者三社から受託している卸売代金の精算業務などの定例的な業務のほか、市民の皆様にも市場のPRやお花に親んでもらうことを目的として「花き市場まつり」を開催するとともに、「国産花きイノベーション推進事業」の一環として、道産花きの魅力をPRするためのイベント「北海道のお花大集合 in 花き市場」を同時開催いたしました。また、北海道花き振興委員会による「北海道花き品評会（切花・鉢花）」の開催、「北海道フラワーウオーク」や「SAPPORO フラワーカーペット」への参画など、花き関係事業者と連携して、花きの振興、需要拡大に向けた取組みを行いました。

当期損益につきましては、市場取扱高の減少に伴う施設賃貸収入及び精算業務収入の減収によって、売上高は1億2,529万円（前期比308万円減）となり、営業利益は595万円（前期比280万円減）となりました。これに営業外損益を加減した経常利益は792万円、法人税等を差し引いた当期純利益は528万円（前期比190万円減）となりました。

(2) 対処すべき課題

少子高齢化の進展や価値観の多様化など、花き業界を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。そうした中であって、当市場は、前述のとおり、道内卸売市場の花き取扱額に対し63.9%のシェアを有するなど、産地と実需者を繋ぐ流通の要として重要な役割を担っているところです。

今後、花きを含めた食品等流通の合理化の促進等を目的として卸売市場制度の抜本の見直しが行われますが、北海道の花き流通の拠点として、当市場が果たす役割は、これからも益々高まるものと考えております。

こうしたことを踏まえ、当市場のあり方や機能強化、市場施設の再整備の考え方など、当市場の目指すべき方向性について、関係事業者の皆様と検討を進めてまいりたいと考えております。

また、花きの需要拡大に向け、「国産花きイノベーション推進事業」はじめ、業界の皆様と一体となって消費宣伝活動の一層の充実に努めてまいります。

(3) 資金調達についての状況

- ① 資金調達 当期中において、新たな借入金、株式の発行、補助金の交付などはありません。
- ② 設備投資 当期中に行った設備投資は、スポット型簡易エアコンの71万円であります。

(4) 直前三事業年度の財産および損益の状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売 上 高	129,552千円	130,904千円	128,376千円	125,292千円
当期純利益	3,284千円	5,111千円	7,192千円	5,283千円
1株当り当期純利益	8円09銭	12円58銭	17円71銭	13円01銭
総 資 産	718,309千円	769,235千円	712,373千円	665,641千円

(5) 使用人の状況（平成30年3月31日現在）

従業員数 社員3名（男子2名、女子1名）、非常勤社員2名、パートタイマー1名

2 株式に関する事項

(1) 発行する株式の総数 500,000株

(2) 発行済み株式の総数 406,000株

(3) 当期末株主数 5名

(4) 株 主

株 主 名	持 株 数	株式割合
札幌市	204,000株	50.25%
札幌花き園芸(株)	164,600株	40.54%
北海道植物(株)	19,000株	4.68%
(株)北海道銀行	16,000株	3.94%
はまなす花き(株)	2,400株	0.59%
計	406,000株	100.00%

3 会社役員に関する状況（平成30年3月31日現在）

役 職	氏 名
代表取締役社長	町田 隆敏
専務取締役	大原 治
取 締 役	知野 学
取 締 役	田嶋 久嗣
取 締 役	木村 雅樹
取 締 役	山田 紀雄
取 締 役	木村 明夫
監 査 役	木村 伸人
監 査 役	熊谷 清勝

以上、平成29年度の会社の事業活動の概要をご報告いたしましたが、今後とも、全力をあげて市場運営に取り組んでまいり所存でございますので、関係各位の特段のご指導、ご支援を賜りますようお願い申しあげまして事業報告といたします。

平成30年6月18日

株式会社札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 町田 隆敏

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 176,818,070 】	【流動負債】	【 29,098,526 】
現金	80,000	未払金	7,184,908
預金	165,235,458	未払法人税等	1,854,000
立替金	315,898	未払消費税	1,783,300
前払費用	4,698	前受金	15,000
未収収益	763	預り金	397,603
未収入金	11,192,445	精算代金預り金	16,669,724
貸倒引当金	△ 11,192	賞与引当金	1,193,991
【固定資産】	【 488,822,697 】	【固定負債】	【 44,687,310 】
(有形固定資産)	(405,826,386)	長期借入金	0
建物	137,612,027	預り保証金	42,240,000
構築物	1,601,868	退職給付引当金	2,447,310
工具器具備品	3,146,491		
土地	263,466,000	負債合計	73,785,836
(無形固定資産)	(248,311)	純資産の部	
電話加入権	248,311	科目	金額
(投資その他の資産)	(82,748,000)	【株主資本】	【 591,854,931 】
投資有価証券	30,000,000	資本金	470,000,000
保険積立金	8,000	(利益剰余金)	(121,854,931)
取引保証積立金	37,740,000	その他利益剰余金	121,854,931
修繕積立金	15,000,000	別途積立金	40,000,000
		繰越利益剰余金	81,854,931
		純資産合計	591,854,931
資産合計	665,640,767	負債・純資産合計	665,640,767

損 益 計 算 書

自平成29年4月1日

至平成30年3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
【 売 上 高 】		
施設賃貸収入	100,988,949	
売上高割使用料	44,267,283	
面積割使用料	38,777,082	
関連店舗使用料	17,944,584	
精算業務収入	21,652,984	
駐車管理収入	2,650,000	125,291,933
売上総利益金額		125,291,933
【販売費および一般管理費】		119,333,751
営業利益金額		5,958,182
【 営 業 外 収 益 】		
受取利息	59,903	
雑収入	1,905,106	1,965,009
経常利益金額		7,923,191
【 特 別 利 益 】		
貸倒引当金戻入益		55
税引前当期純利益		7,923,246
法人税、住民税及び事業税		2,639,689
当期純利益		5,283,557

株主資本等変動計算書

自 平成 29年 4月 1日

至 平成 30年 3月31日

(単位：円)

	株 主 資 本			株主資本合計	純資産合計
	資 本 金	利 益 剰 余 金			
		その他利益剰余金			
		別途積立金	繰越利益剰余金		
前 期 末 残 高	470,000,000	40,000,000	76,571,374	586,571,374	586,571,374
当 期 変 動 額					
別途積立金の積立		0		0	
当 期 純 利 益			5,283,557	5,283,557	5,283,557
当 期 変 動 額 合 計		0	5,283,557	5,283,557	5,283,557
当 期 末 残 高	470,000,000	40,000,000	81,854,931	591,854,931	591,854,931

上記のとおりご報告申し上げます。

株式会社 札幌花き地方卸売市場

代表取締役社長 町田 隆 敏

個別注記表

自 平成 29年 4月 1日

至 平成 30年 3月31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の棚卸方法及び評価基準

棚卸方法----- 実地棚卸

評価基準----- 最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

法人税法の規定による定率法によっています。但し、平成10年4月以降取得の建物については、定額法によっております。

無形固定資産

定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、法人税法の規定にもとづく法定繰入率による繰入限度額を計上しております。

賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、自己都合による退職金の期末要支給額の100%相当額を引当計上しております。

計算書類作成のための重要な事項

①リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

②消費税等の会計処理

消費税の納付税額の計算方法は、原則課税制度によっております。また、その経理処理は 税込方式によっております。

株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度中の剰余金の配当に関する事項

当期中における配当金の支払いはありません。

当該事業年度後の剰余金の配当に関する事項

配当金の支払いの予定はありません。

発行済み株式の数

前期末株式数（発行済普通株式）

406,000株

当期増加株式数（発行済普通株式）

当期減少株式数（発行済普通株式）

当期末株式数（発行済普通株式）

406,000株

一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

一株当たり純資産額

1,457円77銭

一株当たり当期純利益

13円01銭

その他の注記

その他

有形固定資産の減価償却累計額

722,647千円